

授業科目名		担当講師名		対象学年	
在宅看護論Ⅰ（状態別看護）		重 しほ子 益田 祐子		2年次	
授業形態	単位（時間）	教室等	学期	曜日	時限
講義	1（30）	2年生教室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	対象となる疾患の症状・状態 在宅看護の要点と看護介入				
到達目標	在宅看護の症例について理解し、在宅における看護の実際を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	在宅看護の介入時期について
2	脳卒中の在宅看護① ・症状、合併症予防について
3	脳卒中の在宅看護② ・初回訪問～看護の実際 家族支援 社会資源の活用
4	パーキンソン病の在宅看護① ・症状、合併症、急性増悪の早期発見
5	パーキンソン病の在宅看護② ・初回訪問～看護の実際 家族支援 社会資源の活用
6	ALS の在宅看護① ・症状、合併症、人工呼吸器療法の実際
7	ALS の在宅看護② ・初回訪問～看護の実際 自己決定支援 家族支援 チーム調整
8	認知症の在宅看護① ・症状、アセスメント
9	認知症の在宅看護② ・看護の実際（コミュニケーション 問題行動への対処） ・家族への支援、社会資源の活用
10	終末期における在宅看護① 観察、アセスメント、症状、疼痛コントロール
11	終末期における在宅看護② ・初回訪問～看護の実際 自己決定への支援 家族支援
12	生活自立支援が必要な人への在宅看護① ・観察 自立度のアセスメント人間関係の調整、社会資源の活用と指導
13	生活自立支援が必要な人への在宅看護② ・初回訪問～看護の実際 人間関係の調整 社会資源の活用と指導
14	感染症の在宅看護 ・看護の実際 感染予防対策 家族への看護
15	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 統合Ⅰ 在宅看護論 医学書院 パソコン プロジェクター
成績評価の方法	筆記試験
備考	